

施策名：スポーツによる地域の元気づくり

事業名	担当課・室名	ページ
スポーツ交流地域活力創出事業	芸術文化スポーツ振興課	1 / 3
おおいたスポーツ成長産業化モデル事業	芸術文化スポーツ振興課	2 / 3
ラグビーワールドカップ開催準備事業	ラグビーワールドカップ2019推進課	3 / 3

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成30年度)

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	スポーツ交流地域活力創出事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	スポーツの振興	
						施策区分	スポーツによる地域の元気づくり	
総合評価	A 終了		事業実施課(室)名	芸術文化スポーツ振興課		評価者	芸術文化スポーツ振興課長 秋月 久美	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県内では3つのプロスポーツチームが活動しており、スポーツを「みる」・「ささえる」などのスポーツ文化が定着しつつある。また、スポーツ施設など優れた地域資源のさらなる活用が求められている。	事業の目的	スポーツ文化の確立と県民スポーツの振興を図るため、プロスポーツ等の高度で質の高いスポーツを活用し、県民がスポーツに親しむ機運を醸成する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①スポーツ振興広報事業 県民がスポーツを応援する機運を醸成するため、スポーツ振興をPRする動画を制作・放映	①	9,188	総コスト	25,667	25,672	
②プロスポーツ県民ふれあい交流事業 プロ選手による小学校や地域イベントへの訪問等、県民がプロスポーツに触れる機会を提供	②	6,455	事業費	22,667	22,672	
③県民DAY開催事業 ホームゲームで県民DAYを開催し、多くの県民が足を運び応援する機会を拡大	③	5,530	(うち一般財源)	22,667	22,672	
④大規模スポーツイベント活用・誘客促進事業 オートポリスを活用した観光及び県産品PRを実施	④	1,557	人件費	3,000	3,000	
	計	22,730	職員数(人)	0.30	0.30	

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価	
	PR動画放映回数(回)	目標値		40	40			40	40%	県民DAY開催状況(回)	目標値	6	6			
実績値			40	40		40	実績値	6			6		6			
達成率			100.0%	100.0%		100.0%	達成率	100.0%			100.0%		100.0%			
学校等訪問回数(回)		目標値		40	56		56	28%	大規模スポーツイベント活用回数(回)	目標値		1		1	7%	
		実績値		56	61		61			実績値		1		1		
		達成率		140.0%	108.9%		108.9%			達成率		100.0%		100.0%		

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
学校訪問等での交流人数(人)	目標値		3,360	3,360		3,360	a	交流事業の訪問先から「プロ選手との交流は大変貴重な機会であり、子供達から、とても楽しかった。スポーツが好きになりました。試合の応援に行きたい。」という感想が寄せられスポーツに親しむ機運の醸成が図られた。
	実績値		4,019	8,200		8,200		
	達成率		119.6%	244.0%		244.0%		

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・より多くの県民がプロスポーツチームとの交流を図る場を拡充	今後の事業方針 ・訪問先に医療施設等を含めるとともに、参加者のニーズを踏まえて、県民DAYの招待の対象を拡大し、「スポーツによる地域の元気づくり事業」に組み替えて実施				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成30年度)

(評価実施年度：令和元年度)

別紙2-4

事業名	おおいたスポーツ成長産業化モデル事業		事業期間	平成29年度～令和元年度		政策区分	スポーツの振興			
						施策区分	スポーツによる地域の元気づくり			
総合評価	A		継続・見直し		事業実施課(室)名	芸術文化スポーツ振興課		評価者	芸術文化スポーツ振興課長 秋月 久美	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	国は、『日本再興戦略2016』で掲げる「スポーツの成長産業化」に向けて、スタジアム・アリーナを核とした街づくり・地域活性化の実現を目指しているが、大分トリニータの観客数は近年頭打ち状態であることから、J1復帰とラグビーワールドカップ2019を好機として、新たな観客層を大分スポーツ公園に呼び込み、スタジアム及び地域経済の活性化を図ることが求められている。	事業の目的	魅力あるスタジアムづくりを目指すために、昭和電工ドーム大分と大分トリニータのホームゲームをモデルに、スポーツ観戦の魅力を増加させ、来場者に新たな感動体験を提供する。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①魅力あふれるスタジアム環境整備に向けた方策研究 スポーツ産業を活性化させる、ビジネス展示会及びコンファレンスに参加し情報を収集するとともに、平成29年度に実施した、スポーツの成長産業化に向けた市場調査について、大分県スポーツ政策エグゼクティブアドバイザーと協議を実施 ②Jリーグの他チームのスタジアム調査 ③スポーツ政策に関する座談会の開催	①	544	総コスト	31,674	3,098	30,253
	②	372	事業費	17,674	1,098	16,253
	③	262	(うち一般財源)	9,196	1,098	8,627
	④		人件費	14,000	2,000	14,000
	計	1,178	職員数(人)	1.40	0.20	1.40

活動指標	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(元年度)	評価割合	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(元年度)	評価割合	評価
	大分県スポーツ政策エグゼクティブアドバイザーとの協議(回)		目標値		2	2	2		46%	スポーツ政策に関する座談会(回)		目標値		1			
		実績値		3						実績値		1					
		達成率		150.0%						達成率		100.0%					
スタジアム調査(回)		目標値		2	3	3	32%			目標値							
		実績値		2	2					実績値							
		達成率		100.0%	66.7%					達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(元年度)	評価	事業の成果
大分スポーツ公園利用者数(千人)	目標値		1,220	1,220	1,472	1,472	a	調査結果を踏まえ、スポーツ政策エグゼクティブアドバイザーから魅力あるスタジアムに向けての取組の提案を受け、具体的な方策に繋がった。
	実績値		1,088	1,199				
	達成率		89.2%	98.3%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・大分スポーツ公園の利用者の増加に繋がる取組の実施	今後の事業方針 ・子ども、女性をターゲットとしたイベント等を実施、大分スポーツ公園への来場者層の拡大 ・スポーツイベント開催時に公園遠方駐車場からのシャトルバスを運行し、遠方駐車場の利用拡大に向けた実証実験の実施				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成30年度)
(評価実施年度：令和元年度)

事業名	ラグビーワールドカップ開催準備事業	事業期間	平成27年度～令和元年度	政策区分	スポーツの振興	
				施策区分	スポーツによる地域の元気づくり	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	ラグビーワールドカップ2019推進課	評価者	ラグビーワールドカップ2019推進課長 高橋 強

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	ラグビーワールドカップ2019大分開催に向けて、開催準備の着実な実施に加えて、ラグビー普及や県民の機運醸成が求められている。	事業の目的	ラグビーワールドカップ2019大分開催を成功させ、地域の元気づくりを図るため、子ども達へのラグビー普及や機運醸成のためのイベント開催を実施する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①ラグビーワールドカップ2019大分県推進委員会負担金	①	230,047	総コスト	1,204,956	552,633	2,085,455
(1)広報・イベント ・One Rugby, One Oita大作戦、日本代表対イタリア代表戦、大会1年前イベント等の実施	②		事業費	1,054,956	372,633	1,895,455
(2)交通輸送 ・日本代表対イタリア代表戦での観戦客輸送テスト、交通輸送実施計画の策定	③		(うち一般財源)	678,637		
(3)観光・おもてなし ・ボランティア募集及び研修の実施	④		人件費	150,000	180,000	190,000
(4)救急医療・危機管理 ・図上訓練の実施	計	230,047	職員数(人)	15.00	18.00	19.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(元年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	One Rugby, One Oita大作戦回数(回)	目標値	60	60	50	50		100%	目標値						
	実績値	64	106				実績値								
	達成率	106.7%	176.7%				達成率								
	目標値						目標値								
	実績値						実績値								
	達成率						達成率								

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(元年度)	評価	事業の成果
	One Rugby, One Oita大作戦参加者数(人)	目標値	32,000	90,000	400,000	400,000		
	実績値	83,762	104,930					
	達成率	261.8%	116.6%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・県民を挙げた更なる機運醸成 ・大会後のレガシー継承	今後の事業方針 ・令和元年度は「ラグビーワールドカップ開催事業」として実施 ・チケットの販売促進等に合わせた機運醸成をはじめ、観戦客の円滑な輸送やファンゾーンの運営、ボランティアの育成等大会成功に向けた取組の着実な実施 ・大会の成果を後世に繋いでいくため、レガシーを見据えたラグビーの普及等に係る取組を実施				